



1 年生で行った「SGH 講演会」に関する授業の報告です。

◇ 総合的な学習の時間（9月12日、7時間目）の様子

岐阜県庁の海外戦略推進課アジア誘客係の松岡慶氏をお迎えして、『岐阜県におけるインバウンド誘致の現状と今後』という演題で、講演をしていただきました。現在1年生の生徒たちは、来年2月のSGH発表会に向けて、グループごとに研究を行っている最中です。夏休みには、フィールドワークということで各グループ様々なフィールドワーク先で、インタビュー活動を行ったり、体験学習をしたりしてきました。

本日の講演会は、今後のグループ活動を進めていくうえで、多く参考になることがあったことが、以下の生徒の感想文からもうかがえます。



生徒の感想

- * 岐阜県は柔軟にアピールの仕方を変え、流行や、対象となる客の変化に合わせて、それらに合った方法でインバウンドの誘致を行っていることが分かった。特に、観光産業がブロガーや Youtuber を、実際に岐阜県に招待していることについては、その方法と発想力に驚いた。**自分達は、観光課の方々のような行動力や経験、知識はないが、柔軟な発想をするという点では、自分たちも努力すればできることがあると思うので、SGH の活動に生かせるようにしたい。**
- * ホームページやパンフレットの言語を、日本語だけでなく、ほかの言語も使いながら説明文を書いたり、実際に外国に行ったときに、岐阜県の特産物などを持って行き、興味をもってもらったりするなど外国の人の目線で考えることが大切だと分かりました。また、外国に行って PR できなくても、SNS などを使って広める方法もあることが分かりました。**とにかく一番大切なのは、コミュニケーションだと思いました。**これから私たちも、頑張ってみていきたいです。
- * 私はまず、岐阜県がインバウンドを誘致するために海外戦略科を設置していることさえ、知りませんでした。岐阜県が様々な機関に人を送り、インバウンドを増やす取り組みを県を挙げて行っていることに、とても驚きを感じました。そして、**私は正直岐阜県外国人、宿泊数が47都道府県中14位だったことはとても意外でした。**それは、松岡さんをはじめとするインバウンドを増やす努力をしてくださる方々の、努力の結果だと思いきいと思いました。
- * 今回の話は、『インバウンドを中濃地区へ』を進めている僕らにとって、非常にためになる話でした。自分たちは、インバウンドを考える際に漠然とした方法しか考えていなかったけど、松岡さんの話を聞いて、**国別やテーマ別に分けて、しっかりと具体的にターゲットを絞ることが大切だ**と感じました。また、ターゲットにする国も、一つに偏りすぎないように、バランスを考えて、今だけでなく、今後も見据えてインバウンドをすることも、大きなポイントだと思いました。